

## 2022 年度事業報告書

### 短期大学による地域貢献支援事業コンソーシアム



### 取組み報告(高齢者支援事業)



#### 高齢者支援事業のご紹介

#### 【経緯】

私情協短大部門で設立した「コンソーシアム」を通して、実践女子大学短期大学部と山野美容芸術短期大学が共同で「高齢者支援事業」を行うこととなりました。

#### 【概要】

概要：両短大の学生同士の交流、学生と高齢者との交流をオンラインで行いました。特にコロナ禍で学生がキャンパスに来られない時期には、両短大で多くの学生が参加し、学生は昼休み時間に自宅から zoom に入り、ブレイクアウトルームで学生同士、学生と高齢者の交流を行いました。

#### 【成果】

ふだん接点のない高齢者と ICT を通してつながることができ、以下のような成果が見られました。  
参加した学生は、企画力・協調性・時間管理能力・発信力・IT スキル・コミュニケーション力などの社会人基礎力の向上につながりました。  
2021 年度は新たに baba lab という団体とのつながりができ、学生が高齢者を支援するというよりも逆に人生の先輩である高齢者の方々から学んだことも多かったようです。

#### 【ノウハウ】

授業がびっしり詰まっている短大生、短い昼休みという厳しい条件の中、仕事に追われて時間的余裕がない短大教員が課外活動を継続するために、課外活動を 2 短大の連携事業とすることは非常に有効な方法であると実感しています。両短大の教員間で頻りに zoom ミーティング行ってアイデアを出しあい、それぞれの短大の強みを活かすことで、課外活動を進化させています。

#### 【展望】

展望：2022 年度前期は、学生が高齢者と交流するための準備として、動画作りの基礎を学ぶ講座を実施しています。実践の学生は対面で講座に参加し、山野の学生はオンデマンドで学んでいます。ここで身に付けた力を、後期の高齢者との交流に生かしていく予定です。

### 2020年度活動報告





## 2021年度活動報告

### 異世代交流支援事業の報...

Word

2022年3月22日

## 異世代交流支援事業の報告

三田薫(実践女子大学短期大学部)  
及川麻衣子(山野美容芸術短期大学)

### 2021 活動報告

#### (1)参加人数

2021年6月9日と16日学生同士交流

参加学生42名(実践26名、山野16名)

6月23日、30日、7月7日異世代交流

学生参加者37名(実践24名、山野13名)

異世代参加者18名(実践と山野の関係の異世代10名、baba labメンバー8名)

11月と12月、山野の2年生3名とbaba labメンバー3名

#### (2)活動時間

6月から7月、水曜日12時40分から12時55分までの15分間Zoomミーティング

11月26日、12月3日、水曜日の10時から10時30分、その他に振り返りの機会

#### (3)活動方法

ブレイクアウトルームを15部屋用意

学生2~3名に異世代者1~3名で参加

参加者が1分プレゼンを行った後、意見交換

#### (4)まとめ

- コロナ禍の最中に「非接触」の活動としてその役割を發揮。収束後も新たなスタイルの交流として継続したい。
- 1つの学校活動完結型ではなく、複数の教育機関、教育機関と異世代組織や自治体が連携することで、可能性が大きく広がることが明らかになった。
- 昨年度からの参加者は学生も異世代者も活動に慣れ、余裕をもって参加していた。
- 今後も学校間・異世代者・自治体や団体の連携を強化し、SDGsの目標17(パートナーシップで目標を達成しよう)の実現を目指していきたい。
- 活動内容について2つの学会で発表した(日本教育情報学会8月28日、日本美容福祉学会11月9日)。

### 2022 年度予定

2022年度も「ICTを活用した異世代交流地域貢献事業」を、両短大や学外の社会人ネットワークを生かして実施する予定である。このネットワークの人材と交流する際に、学生は自らの制作物をICTを活用して紹介し、フィードバックを得る体験を持つことを計画している。

前期には両短大の学生同士で動画の制作と発表を行う。そこで培ったスキルを活用して、後期11月ころから学生が高齢者にインタビューし、それを基に動画を制作して発表することを検討している。

## 2021年度活動

### (1)参加人数

- 2021年6月9日と16日学生同士交流
- 参加学生42名(実践26名、山野16名)
- 6月23日、30日、7月7日異世代交流
- 学生参加者37名(実践24名、山野13名)
- 異世代参加者18名(実践と山野の関係の異世代10名、baba labから8名)

### (2)活動時間

- 6月から7月、水曜日12時40分から12時55分までの15分間Zoomミーティング

### (3)活動方法

- ブレイクアウトルームを15部屋用意
- 学生2~3名に異世代者1~3名で参加
- 参加者が1分プレゼンを行った後、意見交換

## 2021年度前期交流のテーマ

### 学生同士の交流

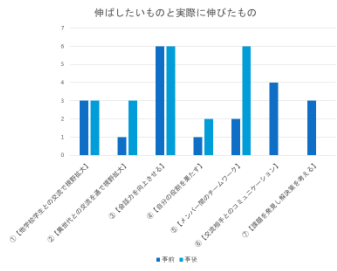
- 第1週(6月9日)「自分がはまっているもの」
- 第2週(6月16日)「のんびりひまなとき、こんなことをしてます」

### 異世代と学生の交流

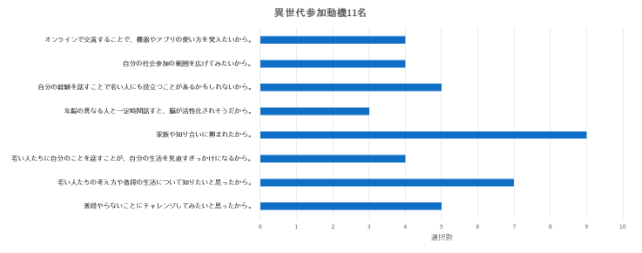
- 第1週(6月23日)「小さい頃から大好きな料理メニュー」
- テーマ第2週(6月30日)「こんなおばさんになりたいorなりたくない」
- テーマ第3週(7月7日)「若い友達ができたら、一緒にどこへ行って何をしたいか」



### 学生のルーブリック結果



### 異世代者のアンケート回答



- ・異世代者と学生のオンライン交流
- ・BABA labメンバーと学生のオンライン交流

2021年度前期活動の成果と課題についてインタビュー  
4つのフォーカスグループ

- ①参加学生
- ②実践・山野の前年度からの異世代参加者
- ③BABA labからの参加者
- ④教職員・自治体職員

### 【実践・山野のOBや関係者】

ヒアリングから見た課題

- ・学生のコミュニケーション能力の低下
- ・事前講習の必要性
- ・ICT機器の操作、慣れ

### 【BABA labメンバー】

・ヒアリングから見た課題

Zoom操作スキルは高齢者でも世代によって異なる

高齢者も学生とのコミュニケーションは不慣れ

プレゼンや司会の練習の必要性 (学生・異世代)

### 【参加学生】 学生の学び・学習成果

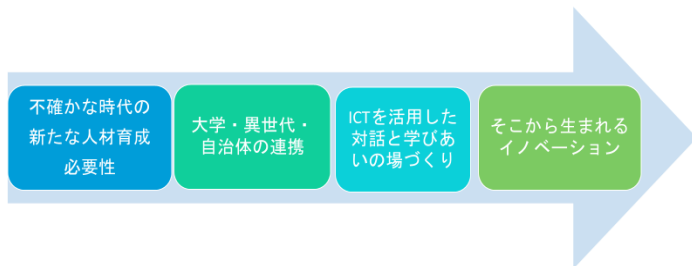
コロナ禍で貴重な体験・経験となった

プレゼンスキル、コミュニケーションスキルが身に付いた

経験の積み重ねによって、慣れて、スキルが向上した

異世代との交流から多くの学び・気づきがあった

### 【教職員・自治体職員】



### まとめ

- ・従来の学生ボランティアとは異なるもの
- ・不得手な学生を異世代者が暖かく受け入れ励ましている
- ・1つの学校活動完結型ではなく、複数の教育機関、教育機関と異世代組織や自治体が連携することで、可能性が大きく広がる
- ・コロナ禍の最中に「非接触」の活動としてその役割を發揮。収束後も新たなスタイルの交流として継続したい。
- ・昨年度からの参加者は学生も異世代者も活動に慣れ、余裕をもって参加
- ・今後も学校間・異世代者・自治体や団体の連携を強化し、SDGsの目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）の実現を目指していきたい



### BABA lab 代表 桑原 静様




学生時代よりWEB関連の制作を請負い独立、20代は、企業のWEBコミュニティサイトの企画・運営をプロジェクトリーダーとして推進しながら、コミュニティが企業へもたらす価値について産学共同研究を行いました。WEBではなく、リアルなコミュニティづくりに興味をもち、30代は、都市部から集落まで、全国の様々なコミュニティの立ちあげや事業化支援に携わりました。中でも、シニアのコミュニティや働き方に興味があり、2011年『BABA lab (ばばらぼ)』事業をスタートさせました。「年をとってできないことは増えるけど、できることがある」を信じて、シニアの活躍の機会をつくっていきたくて考えています。広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会幹事/認定コミュニティビジネスコーディネーター/中小企業支援ネットワーク強化事業アドバイザー/さいたま市教育委員、市民大学運営委員、市民活動推進委員など

出典：BABA lab シニアのエンabler 「社経21」にみる (baba-lab.net)



## 事業全体のサマリー

 経緯・概要・ノウハウ・展望

### 【経緯】

2019年に三重県志摩市の竹内千尋市長（当時）より、地域活性化推進事業としてパールズコレクションの共催が提案され、翌年、包括的連携協定が締結されました。その後、パールズコレクション、三重県志摩市立図書館リニューアルオープン、市民講座と地域文化の振興並びに地域活性化のための連携・協力を行っています。

### 【概要】

本学と志摩市との相互の連携を強化し、文化・教育・学術・まちづくり等の分野で機能向上を図り、本学と志摩市を中心とした地方創生を推進して、地域の発展及び活性化を図るとともに、生徒、学生及び教職員の教育・研究に資することを目的としています。


### 【ノウハウ】

本学 ICT 教育推進委員会とリエゾンオフィスの協力により、ICT 技術による志摩市とのダイレクト遠隔システムを確立することで、大阪と志摩市とつなぐオンラインミーティングを簡便にかつ円滑に行うことが可能となっています。

### 【展望】


パールズコレクション、市民講座等の活動を通して、地域文化の振興並びに地域活性化、教育プログラムの開発及び教育の充実、産学共創・産業振興・企業振興へと展開することを目指しています。

## 取組み 1：パールズコレクション 2019 in 志摩

 経緯・概要・ノウハウ・展望


最終編集: 昨日

## 取組み 2：パールズコレクション 2020 in 志摩

 経緯・概要・ノウハウ・展望


投稿日: 5月25日

## 取組み 3：パールズコレクション 2021 in 大阪

 経緯・概要・ノウハウ・展望

最終編集: 5月25日


## 取組み 4：パールズコレクション 2022 in 大阪

 経緯・概要・ノウハウ・展望


最終編集: 5月25日

 開催

最終編集: 5月21日

 企画・立案

最終編集: 5月21日

 ポップアップショップ@心斎橋オーパ

最終編集: 5月21日





## 経緯・概要・ノウハウ・展望

### 【経緯】

2019年度の包括連携協定より、地域活性化推進事業としてパールズコレクションへの共催を行っています。2021年度では、教員主体の運営から学生主体の企画・立案・運営へとパラダイムシフトを行いました。

### 【概要】

従来の授業と連動させた学科主導ではなく、全学に向けて有志学生を募り、企画チームを立ち上げ、企画立案から志摩市との協議、当日運営までのすべてを学生が主体となって自主的に行いました。

### 【成果】

学生企画チームでは、従来のファッションショーのみにとらわれず、「若年層に向けた新しい真珠アクセサリ」が企画立案されました。しかし、残念ながらコロナ感染拡大のためパールズコレクションは中止され、規模を縮小したポップアップショップの出店となりました。

### 【ノウハウ】

本学 ICT 教育推進委員会とリエゾンオフィスの協力により、ICT 技術による志摩市とのダイレクト遠隔システムを確立することで、大阪と志摩市をつなぐオンラインミーティングを簡便にかつ円滑に行うことが可能となっています。

### 【展望】

コンソーシアムへの展開として、①地域価値支援事業のプラットフォーム構築、②地産地消のイノベーションとSDGs、③フレームワークとしての利用の提示と協力を行っていく予定です。



## 開催

開催日時：2021年2月を予定

開催場所：大阪

コロナウイルス感染拡大のため開催中止 ⇒ ポップアップショップ@心斎橋オーパへ変更



## 企画・立案

企画・立案：従来のファッションショーでの関わりだけに拘らず、志摩市の意図する「若年層に向けた新しい真珠アクセサリの提案」が実現されるように、メンバーからの斬新なアイデアに期待し、今までと異なる、全く新しい形での開催を目指す。

参加学生・生徒：大阪夕陽丘学園短期大学 10名（食物栄養学科 3名、キャリア創造学科 17名）、大阪夕陽丘学園高等学校 10名、三重県志摩高等学校 6名の企画チームを結成



志摩高校および志摩市役...  
画像



## ポップアップショップ@心斎橋オーパ

場所：心斎橋オーパ 地下2階（大阪市中央区西心斎橋 1-4-3）

期間：2022年2月12日（土）・13日（日）

時間：11:00～21:00



大阪夕陽丘学園短期大学 ファ...  
YouTube の動画 0分



ポスター画像データ.jpg  
画像

## 取組み5：マスク作り講習会（2020年度）



経緯・概要・ノウハウ・展望

最終編集: 昨日



市民講座チラシ（マスク制作）

最終編集: 4月1日



写真

投稿日: 4月1日



本学教員のコメント

最終編集: 4月1日



志摩高校のコメント


最終編集: 4月1日




志摩市からのコメント

最終編集: 4月1日

## 取組み6：クリスマス飾り作り講習会（2021...

 経緯・概要・ノウハウ・展望 最終編集: 5月25日

 クリスマスを前に、家庭で飾れるクリスマス... 投稿日: 3月30日

 コメント 投稿日: 3月30日

 Know-how：実施して分かったこと/課題 投稿日: 3月30日

## 取組み7：どん帳製作

 経緯・概要・ノウハウ・展望 最終編集: 昨日

## 取組みの目標

 市民講座開催の目標 最終編集: 4月1日